○藤田謙二議長　休憩前に引き続き会議を開きます。

次，９番平山晶邦議員の発言を許します。９番平山議員。

〔９番　平山晶邦議員　登壇〕

○９番（平山晶邦議員）　平山晶邦です。通告に従い，一般質問を行います。

７月に行われた市議会議員選挙において当選をさせていただき，これから４年間市議会議員として活動することになりました。気持ちも新たに，議会活動は現場主義を第１にして，議員として与えられている議決権，調査権，提案権をフルにして，執行部の皆さんと一般質問などを通じて議論し，常陸太田市の発展に少しでも寄与できる議会活動を行ってまいります。

本市は，今後の常陸太田市の将来を決する４つのプロジェクト，東部土地区画整理事業，市道０１３９号線整備事業，山吹運動公園新総合体育館整備事業，旧ＪＴ跡地整備計画を進めています。

これらの事業は全て，少子化・人口減少に対応して，地域力を上げて，今後の常陸太田市が持続可能な市として生き残るための事業であると考えます。

また，これらの事業の財政的裏づけも，期間が決まっている地方自治体に有利な，市が負担する事業費の９５％に充当できる合併特例事業債などや，有利な補助金を活用できる期間内に行う

今の財政環境だからできる事業となっています。

本市は，少子化・人口減少に対応して，全国的にも先駆けとなり，先進的な子育て支援事業を行っていますが，様々なソフト事業だけでは人口減少には歯止めがかからない状況があります。私は，４つのプロジェクトの推進を行い，ハード面の強化を図り，地域力の強化を望み，人口減少対策を進めなければならないと思います。今回は４つのプロジェクトのうちの３つの事業について，一般質問をいたします。

それでは，質問に入ります。

第１の質問は，東部土地区画整理事業についてお伺いをいたします。

東部土地区画整理事業は，常陸太田始まって以来の２６ヘクタールの面整備を国道３４９号バイパス沿いに行っていますから，市民の皆さんの注目は大きいものがあります。私に対しても，いつまちとしての機能が整備されるのか，企業は入ってくるのか，どのような業種が入ってくるのか等の質問を受けることが多くあります。

そこで，１点目は東部土地区画整理事業の進捗状況についてお伺いをいたします。

また，次に，先ほども申し上げましたように，市民はどのような企業や業態のお店ができるのだろうということに興味を持っています。

２点目は，現在までの企業の誘致状況についてお伺いをいたします。

第２の質問として，市道０１３９号線についてお伺いをいたします。

私は，市道０１３９号線，機初団地を抜け，高貫町，亀作町，真弓町，そして日立市の台原まで通じる道路整備は常陸太田市民の命をつなぐ道路になるということを市民の皆様に申し上げております。本市は救急医療の病院が２つしかありませんし，救急医療について，現況は，残念でありますが脆弱な地域です。救急医療が必要な場合は県北地域の基幹病院である日立総合病院との連携が重要で，時間的な距離を短縮することは，市民の命に関わる大切なことなのです。市道０１３９号線が整備されましたら，本市の中心市街地から日立の台原まで６分くらいで行き，救急医療にとって，日立総合病院までの時間短縮は市民の命を守ることにつながってまいります。そのためにも，早急な道路整備を行う必要があります。

また，前段で申し上げました東部土地区画整理事業のまちづくりと相まって，本市のにぎわいの創出のためにも，県，常陸太田，日立市の連携のもと行う市道０１３９号線の整備が必要であると考えます。

そこで，１点目として，現在までの進捗状況についてお伺いをいたします。

次に,市民は道路整備には多くの費用がかかるだろうとの疑問を持っておられる方もおります。そこで，２点目として，道路整備財源についてお伺いをいたします。

３点目として，今後の整備スケジュールについてお伺いをいたします。

次に，第３の質問として，山吹運動公園新総合体育館整備事業についてお伺いをいたします。

私は，前段で申し上げましたが，少子化・人口減少に対応するためには，子育て支援のソフト事業だけでは難しいだろうと考えています。以前の議会において，私が山吹運動公園新総合体育館整備事業の質問をしたとき，山吹運動公園には多くの市民が現在でも集まっているが，体育館

が建設後４５年以上経っていてトイレやバリアフリーの面に課題があり，現在の社会的な環境にマッチしていない状況を申し上げ，体育館のエリアが使われていないことを質問いたしました。

また，人口減少対策には各界各層の市民が集える核となる施設の山吹運動公園新総合体育館整備が必要であると考えます。

そこで，１点目として，現在までの進捗状況についてお伺いをいたします。

前段，同僚議員の質問の内容については詳細なご答弁をいただき，了解をいたしました。ですから，私からは基本計画としての整備方針の進捗状況についてお伺いをいたします。

２点目は，今後のスケジュールについてお伺いをいたします。

３点目は，ハード面の整備も大切ですが，できたあとの運営方法についても，現在考えておられる状況で結構でございますので，運営方法についてもお伺いをいたします。

以上で私の１回目の質問といたします。

○藤田謙二議長　答弁を求めます。建設部長。

〔髙橋学建設部長　登壇〕

○髙橋学建設部長　東部土地区画整理事業の進捗状況についてお答えいたします。

東部土地区画整理事業につきましては，商業業務施設を集積することにより，新たな雇用の場の創出や買物環境の改善を図ることで，市内経済への好循環，さらには本市の重要課題である少子人口減少対策にも大きく寄与する重要な施策と位置づけております。

本事業は，令和元年７月に県知事の設立認可を受けた１３６人の地権者で構成される東部土地区画整理組合が施行主体となっております。

組合施行の土地区画整理事業の仕組みといたしましては,まず,事業費の確保といたしまして，組合員となった地権者の土地を減歩により一定程度提供していただき，その減歩によって生み出された土地を組合管理の保留地として進出企業に購入していただくことで，主要な事業資金を確保するとともに，この資金を活用し，組合が造成工事などの整備を進めるというものでございます。

また，事業運営や工事の施工については，組合と土地区画整理に精通している業務代行者の５者との間で契約を締結した上で進めており，令和元年１０月にはこの契約に基づき造成工事に着手しております。

事業費につきましては，東部土地区画整理組合においては，造成工事など約２８億円となっており，市におきましては，区画道路などのインフラ整備にかかる費用として約１９億円を充てる計画となっております。

市における約１９億円の事業費につきましては，都市構造再編集中支援事業補助金などの国庫補助金で約９億円，合併特例事業債などの起債事業で約９億5,０００万円を活用していることから，一般財源といたしましては約5,０００万円となっております。

なお，合併特例事業債につきましては，後年度に起債額の７０％を交付税措置されるため，財政的にも負担の少ない計画となっております。

本事業の進捗状況につきましては，令和元年１０月に造成工事などに着手して以来着実に整備

が進められ，Ａ街区の保留地については，本年４月に株式会社フォレストモールに，Ｂ街区の保留地については，本年５月に株式会社カインズに対しまして東部土地区画整理組合から土地の引渡しが行われ，その後，本年８月に起工式を実施し，令和５年春頃の店舗オープンに向け建築工事を進めていくと伺っております。

また，Ｂ街区北側の保留地につきましては，本年１月に太田警察署の移転用地として，東部土地区画整理組合から茨城県警察本部に対し引渡しが行われ，現在，令和５年度中の警察署の開署に向け，建築工事が進められているところと伺っております。

市といたしましても，店舗オープンや警察署の開署に向けて，区画道路などのインフラ整備の進捗を図ってまいります。

残るＣ街区及びＤ街区の進捗状況につきましては，令和５年度中の造成工事完了に向け，東部土地区画整理組合におきましては北調整池の整備なども含めた造成工事を，市におきましては区画道路などのインフラ整備を進めているところでございます。

市といたしましては，東部土地区画整理事業の早期完成に向けて，事業主体である東部土地区画整理組合と連携しながら，区画道路などのインフラ整備の進捗を図ってまいります。

次に，市道０１３９号線について，３点のご質問にお答えいたします。

本路線は，当市幡町から日立金沢町を結ぶ延長約5.６キロの区間を茨城県と日立市，当市が連携して整備を進める計画としております。

このうち，トンネルを含む当市の部分，約5.１キロの区間につきましては，当市と茨城県とで委託契約を結び，県から工事に係る技術的支援をいただきながら整備を進めており，また，トンネルから東側の約0.５キロの区間につきましては，日立市が整備を進めているところでございます。

当事業の効果といたしましては，通勤通学での大幅な時間短縮が図られること，日立総合病院など日立市内への救急搬送などが容易になること，また，緊急輸送道路での活用も可能となること，さらには東部土地区画整理事業地内への誘客が図れることなど，市民の利便性・安全性の向上，産業の振興や地域の発展など，様々な効果が期待できるものと考えております。

ご質問１点目の当事業の進捗状況についてお答えいたします。

まず，用地の取得状況につきましては，面積で申し上げますと約７割の方にご協力をいただいているところであり，また，事業費の面での状況といたしましては，調査設計や用地補償等にご協力いただいた箇所における橋梁下部工事や道路改良工事など，全体事業費の約１割の進捗となっております。

このように，用地取得率が７割，事業費が約１割の進捗状況となっている要因といたしましては，一部権利者の反対による用地交渉の難航や，その隣接する権利者の用地取得に必要な境界が確定できないこと，また，事業化された後に土地の名義を複数名で共有することにより交渉が難しくなっている土地があること，その他，工事施工に伴う関係権利者との調整に時間を要することなどの課題がありますことから，工事の工程にも影響が出ている状況となっております。

いずれにいたしましても，関係権利者の皆様に対しましては，引き続き事業へのご協力が得ら

れますよう交渉してまいりたいと考えております。

２点目の整備財源についてお答えいたします。

当事業のうちトンネルを含む当市の部分，約5.１キロメートルの区間の財源につきましては，国費と合併特例事業債，日立市と当市の市単独費でございます。

事業費のうち国費は５０％，合併特例事業債は約４５％，残る約５％分については，トンネル区間の一部が日立市の区域になっておりますことから，日立市と当市の単独費として，両市で工事延長により按分をすることとしております。

なお，後年度に合併特例債事業債に係る更正措置と，県からの合併支援費措置がございます。

また，合併特例事業債は市町村合併後の２０年となります令和６年度が期限となっておりましたが，平成３０年の法改正により期限が合併後２５年となりましたことから，当初の新市建設計画を変更し，５年間延伸して令和１１年度とするよう調整してまいります。

３点目の今後のスケジュールについてお答えいたします。

現在は，用地買収が完了した箇所から橋梁下部工事や道路改良工事を進めておりますが，今後につきましては，１点目で申し上げました工事工程の進捗を図るために，例えば，トンネル工事について，現在，日立市側から掘削を行う計画としておりますが，当市側からも施工が可能かなど，事業の進捗を図れるよう関係機関とも連携しながら協議検討を行ってまいります。

市道０１３９号線につきましては，本市にとりまして非常に重要な路線でありますことから，引き続き茨城県や日立市と当市による連携の強化や情報共有を図りながら，早期の完成に向け，事業に取り組んでまいりたいと考えております。

○藤田謙二議長　商工観光部長。

〔根本晋商工観光部長　登壇〕

○根本晋商工観光部長　東部土地区画整理事業における企業の誘致状況についてのご質問にお答えいたします。

Ａ街区及びＢ街区におきましては，８月から工事が始まったところでございますが，Ａ街区には食品スーパーのヨークベニマルを中心に，ドラックストア，子ども服店，ファーストフード店，カーディーラー等の進出が予定されております。

また，Ｂ街区にはホームセンターのカインズを中心に業務用衣料品店等の進出が予定されており，来年の春頃にはオープンとなる予定でございます。

また，Ｃ街区の南側の区画におきましては，市民から出店要望の強い書店やカフェ，アパレルを核とし，市内業者が参画でき，一部公共的機能を持たせた官民連携による複合施設の建設を目指しております。

これまで，商工会や子育て世帯の母親たちとの意見交換，高校生へのアンケートなどを実施しており，東部地区に望まれる施設の機能について検討しております。市民の期待に応える施設の建設に向けて進めてまいりたいと考えております。

Ｃ・Ｄ街区におきましては，造成工事も進んでまいりましたことから，一部の区画につきましては進出を検討する企業から問合せが増えてきている状況にあり，令和５年度以降順次土地の引

渡しが可能となることから，令和６年度以降には町のにぎわいが形成されてくることを期待しているところでございます。

今後も，東部土地区画整理事業用地における雇用の場の創出，市内の消費拡大に向けて，土地区画整理組合と連携し，引き続き企業誘致活動に取り組んでまいります。

○藤田謙二議長　教育部長。

〔西野保教育部長　登壇〕

○西野保教育部長　山吹運動公園新総合体育館整備事業についての３点のご質問にお答えいたします。

１点目の進捗状況についてのご質問でございますが，現在，外部検討委員会，内部検討委員会を行うとともに，スポーツ関係団体等の方々からの意見聴取や先進地視察を行いながら，新総合体育館整備基本計画において定めた３つの整備方針に反映させるよう，基本設計を進めているところでございます。

３つの整備方針のうち，１つ目の「市民の誰もが利用でき，すべての人にやさしい体育館」につきましては，子どもから高齢者，また，障害のある方々へ配慮したユニバーサルデザインの導入をするとともに，スポーツをする人，見る人，支える人がそれぞれのスタイルでスポーツを楽しむことができる施設でございます。

具体的には，エレベーター，多目的トイレ，シャワー室等のバリアフリー対策，授乳室など，高齢者，障害者，子育て世代への配慮や，スポーツ観戦を楽しみにされる方に対して，大型ビジョンの設置などを検討しているところでございます。

２つ目の「人が集い，交流の拠点となる体育館」につきましては，スポーツ活動を通じた市民の交流，スポーツ大会はもとより，様々なイベントを開催することにより，新総合体育館が交流の拠点の施設となるものでございます。

具体的には，様々なイベントに対応できるよう，大型映像ビジョンの設置や床の耐荷重強化を行うほか，様々な情報発信元としてのＩＴ環境の整備，トレーニングルームや多目的ルームを設けるなど，多くの人に利活用していただける施設を検討しているところでございます。

３つ目の「トップレベルの大会等に対応する体育館」につきましては，これまで，本市において見ることができなかったトップレベルの大会等の対応を可能とすることにより，これから将来を担っていく子どもたちにとりまして，自らの夢や目標を育むことができる施設でございます。

具体的には，トップレベル大会の開催に対応するため，各競技の公式コートが確保できるアリーナ面積や観客席数の確保はもちろんのこと，選手，観客，運営の目線により，大会役員室，選手更衣室，医務室など，大会運営に必要な諸室の整備，大型ビジョンの活用等を検討しているところでございます。

次に，２点目の今後の整備スケジュールについてのご質問でございますが，今年度につきましては，基本設計を完了させ，実施設計，現体育館の解体工事の着手を実施してまいります。

実施設計につきましては，令和５年までの２か年を行うとともに，続いて，令和６，７年度の２か年にかけて本体工事，令和８年度に外構工事に着手する予定で，令和９年度当初の供用開始

を目指しているところでございます。

次に，３点目の運営方法についてのご質問でございますが，新総合体育館は，市民の日常のスポーツ活動はもとより，トップレベルのバレーボールやバスケットボールなどの大会誘致を図り，間近で試合を見ることにより，子どもたちの夢や，市民の皆様に感動や夢を与えることを通じて生きがいを育み，スポーツをとおした交流人口の拡大など，にぎわいの創出につながっていくものと考えてございます。

あわせて，ネットワーク環境の整備を図ることにより，例えば，スポーツに関する情報発信を行い，市内の活動拠点と連携した取組への活用や，現在，市が重要施策の一つとして取り組んでおりますフレイル対策にも対応できるなど，健康づくりの拠点，生涯学習の拠点都市の施設を目指すことなどによる付加価値を高め，市民の様々なニーズ，ライフステージに合わせた体育館として，長きにわたり市民と育み市民に愛される体育館として利活用が図れるよう取り組んでまいります。

○藤田謙二議長　平山議員。

〔９番　平山晶邦議員　質問者席へ〕

○９番（平山晶邦議員）　ただいまは，３つの質問に対し詳細なご答弁をいただき，ありがとうございました。

２回目の質問をいたします。

第１の質問，東部土地区画整理事業については１つだけ質問をいたします。

２点目の，企業誘致状況についてのご答弁の中で，令和６年度以降まちのにぎわいが形成されるとのご答弁がございましたが，まちとしての機能が整備されるようになると理解してよろしいのかをお伺いをいたします。

○藤田謙二議長　答弁を求めます。商工観光部長。

○根本晋商工観光部長　東部地区のまちのにぎわいの創出のため，引き続き，積極的な企業誘致等により，まちとしての機能強化にも取り組んでまいります。

○藤田謙二議長　平山議員。

○９番（平山晶邦議員）　企業誘致の状況によるということでございますから，ぜひとも積極的な企業誘致にこれからも努めていただきたいというふうに思います。理解をいたしました。

第２の質問の市道０１３９号線の整備は，要望のみ申し上げます。

質問の中でも申し上げましたが，県，日立市と協力のもと，早急な道路の完成を改めて強く要望をしておきます。よろしくお願いをいたします。

第３の質問，山吹運動公園新総合体育館整備は，これも要望のみを申し上げておきます。

ご答弁にあったように，新たな体育館がスポーツ振興の拠点だけでなく，生涯学習の拠点，フレイル対策などの健康づくりの拠点と位置づけた市民の様々なライフステージに合わせた体育館になることを強く望みます。

合併特例事業債や都市構造再編集中支援事業補助金など，財政的に有利な条件が整っている，使えると言ったらよろしいのでしょうか，その期間での早急な整備を改めてお願いを申し上げま

す。

以上３点を質問いたしました。

最後に，私は前段で申し上げましたように，少子化人口減少に歯止めをかける対応は，常陸太田市のまちづくりとの協奏のような気がいたします。

私は，少子高齢化対策をやろうとしているうちはまだよいのですが，高齢者もいない，子どももいない，働く人もいなくなる常陸太田市になることを恐れています。東部土地区画整理事業，市道０１３９号線，山吹運動公園新総合体育館整備，これらの３事業を早く進めて，相乗効果ある対応で地域力を高め，少しでも少子化人口減少対策ができますことを強く望み，私の一般質問を終わります。ありがとうございました。